



黒沢一成議員

学校給食

ランチボックス断念か

業者の採算がとれない

質問 今年の2学期から予定していたランチボックス方式での給食に期待していた人も多いと思うが、実施は困難と判断した訳は。

岩船教育長 昨年10月実施した利用希望アンケートの結果、毎日利用したいのは255人であった。業者委託を考えた場合、設備投資を含めて採算が取れないことを心配した。

アンケートに完全給食の実施を望む声が多く寄せられたことから、今後は完全給食について、調査・検討を進める。

質問 全額個人負担とせず

調理運搬費等人件費を公費負担とすれば、単価が下がり利用希望者数が増えたのでは。

岩船教育長 先進地である釜石市の方式を参考にして実施を考えた。

質問 完全給食実施について具体的な取り組みは。

沼崎町長 平成21年度から22年度にかけて建設場所、施設規模、建設主体、運営形態、会計制度などを調査検討し、23年度に実施設計、23・24年度で建設、25年度の実施を考えている。ただし、財政計画との整合性が大前提となる。

雇用創出

緊急雇用創出の具体案

環境衛生と産業振興

質問 ふるさと雇用再生特別基金事業、緊急雇用創出事業の具体案は。

沼崎町長 ふるさと雇用再生特別事業は、雇用期間が原則1年以上で、町が民間企業に委託して実施する。

町の考えを聞く



観光情報などを知らせる総合案内所が設置されました（道の駅）

4月からは、農事組合法人エコファーム山田の販路拡大戦略などの取り組みで1人、町観光協会の観光情報提供への取り組みで1人、計2人の雇用を委託予定。緊急雇用創出事業は、雇

用期間が6カ月未満で、町が直接実施するか民間企業などに委託して実施する。4月からは、町が直接実施する事業として、資源ゴミのリサイクル分別指導と不法投棄パトロールに年間4人を、観光イベント運営補助に1人を雇用する予定。年度途中には、環境保全整備のための作業員を雇用する計画を立案中。

そのほか、各課で想定される交付対象事業例に沿って検討している。